





# 厳しい時期を迎えて

三島町長 遠藤 榮門

町民の皆様は、謹んで新年のお慶びを申し上げます。年あらたまり、すがすがしさのみなきるなかで、さらに新たな希望と決意をもって、新しい年にのぞみたいと存じます。ふりかえってみますと、三島町が誕生して三十四年目を迎えます。この間、めざましい技術

革新、経済の高度成長によって物質的には、かつて経験したことのない豊かさを享受しております。この豊かと成果を、次の時代にに向けて、さらに実りあるものに発展させていかなければなりません。しかしながら、最近の社会状況は、従来とは違った厳しいものとなりました。我が国の経済が国際的な高まりの中で発生した諸問題で、住民特に農林業及び中小企業等を脅かし、地域社会に深刻な問題を投げかけており

ます。このようなときこそ、町民一人一人の日常生活に直接つながり町民の心を心として、ともに歩む町長として、より努力し、厳しい時代を乗り切る所存であります。また二十一世紀に向けての町基盤確立の必要を痛切に感じ、状況が困難であればあるほど、一致協力して工夫をこらし、想いを新たに、新しい変革の時期にのぞみたいと存じます。幸い町では、地域関係者のご協力とご努力によって三十五haの

区画整理事業を起していただき既にその大半が完了いたし、企業の進出、住宅の建築と活気を呈してまいりました。その成果が町商工業の活性化や伸展に大きく寄与することと存じます。又農業経営が国の水田農業の確立政策のなかで、より高度で効率のよい農業基盤確立のために、農業団体と一体となって、地区再編農業構造改善事業、農村総合整備事業に取り組んでおります。このような事業が、公共下水道事業の推進とともに、公共土木事業等の

にも大きく貢献いたしており、町の活性化にもつながっております。今年度はこれらに加えて、永年の願望であった、町民スポーツ広場の活用とあいまって、町の活性化を象徴する役場庁舎、保健センターの建設に着手いたし、自然と調和のとれた躍進三島町の竿頭を飾りたいと町民の皆様ともどもがんばってゆく年にいたしたいと願っております。終りにのぞみ、皆様のご健勝を心からお祈りいたし新年のごあいさつといたします。

# 着実に前進する議会に

三島町議会議員 小林 太左衛門



町民の皆様は、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昭和六十三年の年頭にあたり皆様方のご健勝を心からお祝い申し上げますとともに、町議会に對するご支援を厚く御礼申し上げます。開かれた議会へ 昨年は皆様方のお手数を煩わ

しまして、私共の改選が行われましたが、多様化した社会を反映しまして年代的にも立場的にもいろいろな層の人達を得ることができ、一層皆様方のご期待に添える議会となりました。その第一段として本年は開かれた議会を目指して、年四回の定例会ごとに議会報告を発行いたします。そこには町当局の提案に対する議員の質問、意見などを掲載し、議会の動きが逐一わかるようにしたいと考えております。

行政と共に歩む議会へ 次に、議会は町当局とは別の角度から町民の皆さんのご意見を取り入れ、三島町の発展に寄与いたします。昨年は中農協のカントリーエレベーターが稼働し、逆谷農業構造改善センター、気比宮集落開発センターが竣工したほか用排水路工事、暗渠工事等、厳しい環境下にある農業関連事業をはじめ、スポーツ広場の建設吉崎・上岩井、新保、鳥越各地の宅造事業など生活環境向上

の施策も多く行われました。また産業振興の面では、鳥越農村地域工業導入地区において新保の二企業に次いで新しい企業が進出してくる等明るい動きをしております。ますます高まる行政への期待 本年はそれらの基盤に立っての事業が多く行われます。その第一は役場庁舎の建設でございます。いまさら申し上げるまでもなく役場は行政の中心であり、行政そのものでありますので、おおいに関心のある

ところでございます。また本年は来年の使用開始をめざして公共下水道工事が急ピッチで進められるでしょうし、待望のスポーツ広場も新年度早々には利用が始まります。私たちが議会は子や孫に誇りうる町を造るべく一生懸命努力する覚悟であります。本年も皆様方の一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。あわせて町民の皆様方のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

# 億円

## 一般会計

歳入 歳入の中では地方交付税が七億六千三百七十五万円と例年のことながら主要財源となっております。前年度より二百三十三万五千二百三十三円(三・二%)の大幅な伸びとなり、町税においても町民税と固定資産税を合わせて千二百六十六万円の増となったものの鉱産税は五百十万円前年度より落ち込み町税全体では三・〇%の伸びにとどまりました。その他の歳入の主なものとしては、県補助金

成の諸調査への支出のほかに、長期間これらの事業に取り組みするために職員を増員してソフト事業に着手したために全体で三億六千二百二十七万円増と大きく伸びました。土木費については、土地区画整理事業に伴う町道整備事業を三地区同時に実施したことと道路新設改良費が前年度より一億四千八百四十一万円増となりました。下水道特別会計への繰出金は、前年度の倍近い二千八百三十八万円を、更に土地区画整理組合に対する補助金も四組合

補修工事を行う一方、土地区画整理事業やスポーツ広場の建設等に伴って舟岡、千石原、根立の各遺跡の調査を実施しました。また今建設中のスポーツ広場の測量設計も行いました。次に庁舎、保健センターの建設については、六十三年建設のための事前調査や土留工事を施行する一方基金積立についても配慮してまい

# 昭和61年度 決算のあらまし

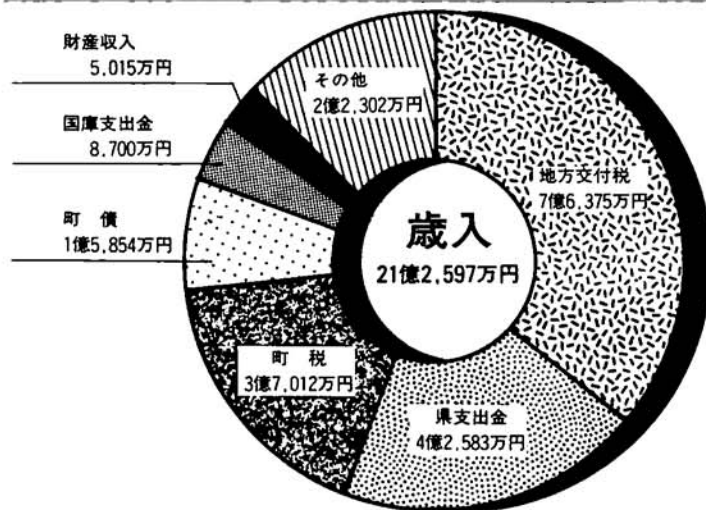
# 住みよい町づくりに向けて

昭和61年度町の財政のあらましを公表します。

一般会計決算額は、歳入21億2,597万円の前年度より4億9,798万円(30.6%)の増に対して歳出は支出済額が20億7,202万円と5億659万円増で32.4%の伸びとなりました。

歳入歳出差額5,395万円となり、そのうち1,300万円を直接基金積立を行ない翌年度へは4,095万円を繰り越しました。

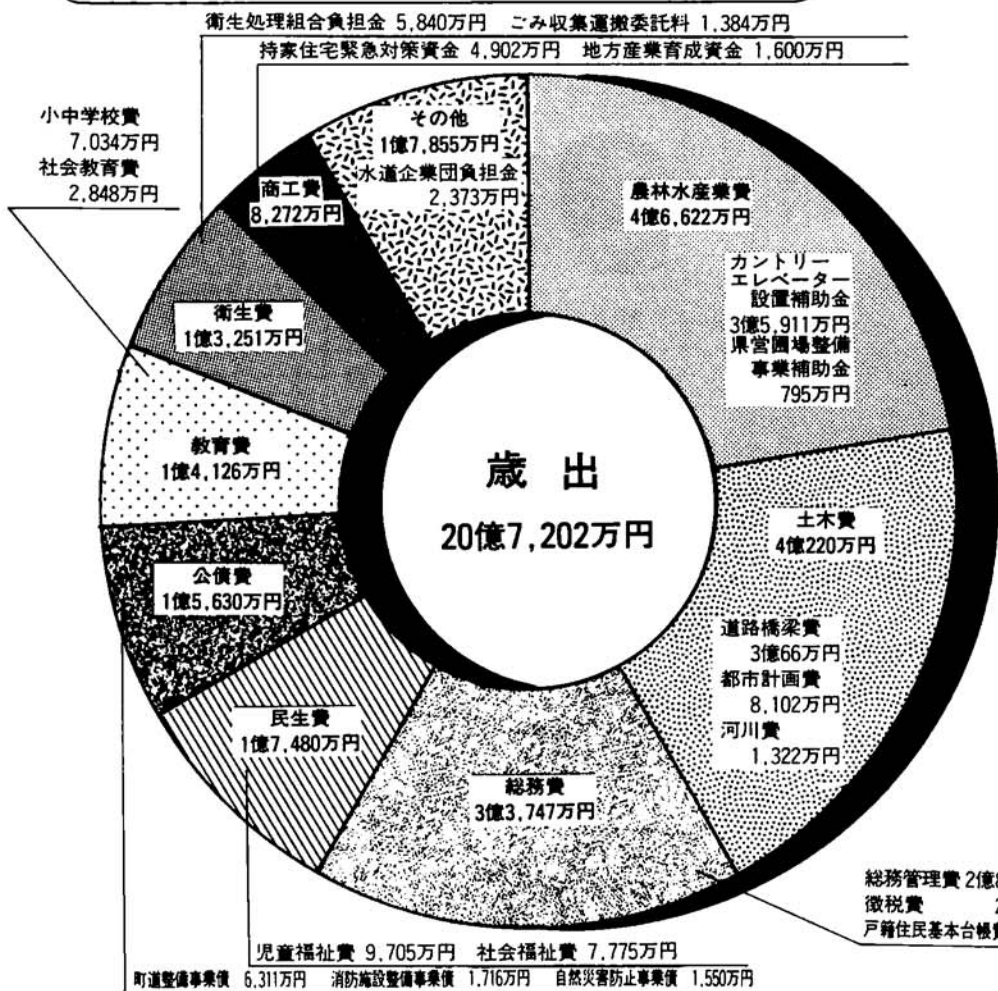
60年度の平年ペースによる決算規模に対し61年度はそれを大きく上まっただことは三島中部農協が事業主体であるカントリーエレベーター建設に対する補助金3億5,911万円の支出や、土地区画道路関連の建設事業が半年度で多くの工事を施行する必要もあって20億円を超える決算規模となりました。



## 町の収入

としてのカントリーエレベーターに対するものや、建設事業に対する大幅な資金需要から、一億四千二百四十四万円と大きく伸びました。歳出 総務費では、庁舎建設基金一億千六百二十二万円の積立をして建設年次の自己資金確保に配慮しましたが、減価基金や地域総合整備基金については、六十一年度は利子分の積立のみとしたことで総務管理費は六十年度決算額より九千三百六十三万円の減となりました。民生費については、老人保健特別会計への繰入金と厚生福祉施設整備基金への積立金が増え全体で千五百九十四万円の増となりました。衛生費関係では、清掃費が大きく増えましたが逆谷不燃物処理場の用地買収に伴う千九十万円の特別支出があったことによるものです。農林水産業費では、カントリーエレベーター建設事業に対する補助金や新規事業の新農産構造改善事業及び農村総合整備事業の基本計画作

## お金のつかいみち



に対し四千二百六十五万円を交付しました。教育費は、小中学校の工事請負費や備品購入費、進捗調査経費をはじめスポーツ広場を建設するための設計や調査などで二千五百万円の増となりました。災害復旧費は、特に公共土木施設災害復旧費千七百四十三万円の工事請負費負担が大きく二千七百三十三万円の増となりました。成果 社会福祉では、ふれあい町づくり事業、小規模アサーサービス事業等老人福祉対策の他に各種訓練や健康審査など健康管理の徹底をはかってきました。

補修工事を行う一方、土地区画整理事業やスポーツ広場の建設等に伴って舟岡、千石原、根立の各遺跡の調査を実施しました。また今建設中のスポーツ広場の測量設計も行いました。次に庁舎、保健センターの建設については、六十三年建設のための事前調査や土留工事を施行する一方基金積立についても配慮してまい

広報カレンダー

Calendar table with columns for month, day, and event details. Includes events like '読書大会書初め作品展示' and '軽スポーツのつどい'.

クレジットの名義貸しに



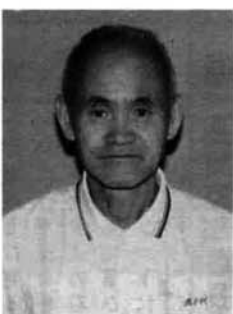
ご注意ください

ここ数年、クレジットのトラブルが増えています。契約書に自分の名前を使わせた「名義貸し」が目立ちます。

商品は洋服、布団、自動車などさまざまですが、手口は同様です。消費者が知らないうちに勝手に名前が使われた場合は私文書偽造にもなりかねません。

テレホンサービス (1~2月分) 暮らしのダイヤル (025) 285-7000

Table listing telephone services: 青果物トレー包装の適正化, 消費生活相談事例, 冬の省エネルギー, ストレスの発散方法.



献血50回

このほど、吉崎の小林繁さん(六十五歳)に日本赤十字社から献血功労者として金色有功章が贈呈されました。

保健行事のおしらせ

Table of health events: 対象, 内容, 日時, 会場. Includes '乳児健診' and 'はぐくみ学級'.

特別企画

国保会計

歳入 三億二千四百万円
歳出 二億七千四百五十五万円
老人保健法の改正に伴う老人保健拠出金の減額を見込んで、保険税は一人当り額六万円以内(一般分)にし基金依存体質からの脱却を目指してきまされたが、ほぼ当初目標に近い額におさま

老人保険

歳入 三億七千九百五十八万円
歳出 三億六千五百二十七万円
医療費は前年度にくらべて千三百二十七万円(三・六%)の減となりまされた。このことから、医療費通知等による適正医療の普及や各種検診の充実による疾病の早期発見、早期治療の効果

下水道事業

歳入 一億五千三百九十三万円
歳出 一億五千三百九十三万円
歳入は前年度より四・二%の増

第四回定例議会

昨午十二月十八日、昭和六十二年三島町議会定例会が召集され、会期を六日間と定めて審議を行い、昭和六十一年度一般会計決算及び三つの特別会計の決算の承認と昭和六十二年度一般会計補正予算及び三つの特別会計の補正予算や条例改正案等が原案通り可決されました。

決算の承認

二・三ページに詳しく掲載してあります。

補正予算

昭和六十二年三島町一般

条例等関係

- 三島町税条例の一部を改正する条例について
三島町都市計画税条例の一部を改正する条例について
三島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

請願

- 義務教育費の国庫負担制度に関する請願について
国民健康保険制度の改革に関する意見書の提出について
第二次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画の策定に関する意見書の提出について

意見書

もうひとつの決算

Summary table of statistics: 死亡 80人, 出生 68人, 保育園児 203人, 交通事故 14件, 結婚 24組, 児童・生徒 851人, 火災発生 0件, 離婚 8組, 老人 1,182人.



歳末たすけあい 募金のお礼

思まれない人達が一人でも多く幸せにをスローガンにして歳末たすけあい募金をお願いいたしましたところ町民の皆様

善意をありがとうございました

お寄せくださった六十三万四千七百七十四円は町の民生委員協議会において充分協議いたしました。有効に活用させていただきます。